

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：警察費

項：警察管理費

目：警察本部費

事業名 警察における男女共同参画組織の実現事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号：058-271-2424(内2611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 834 千円 (前年度予算額：1,092 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,092	0	0	0	0	0	0	0	1,092
要求額	834	0	0	0	0	0	0	0	834
決定額	834	0	0	0	0	0	0	0	834

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和3年4月「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」を策定し、女性職員の活躍推進等に取り組んでいるところ、男女共同参画組織の実現に向け、最新のトレンドに精通した部外講師による研修会等を開催し、職員の意識改革及びキャリア形成を図ろうとするもの。

(2) 事業内容

ア 県警察の男女共同参画等の取組を推進するための中核を担う「岐阜県警察男女共に輝くための警察運営プロジェクトチーム」推進員等に、キャリア形成等に関する部外の先進的な取組や、そのスキルを学ばせ、男女共同参画組織実現に向けた企画・調整力のある人材を育成するため、民間主催のセミナーを受講させる。

イ 男女共に輝く職場環境の醸成には、これをけん引する各所属のリーダー的存在が不可欠であるところ、取組計画の推進指導者である次席・次長等を対象として、ハラスメント対策を含めた男女共同参画に関する理解促進のため、民間企業に業務委託して、講義、グループワーク等による研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

女性職員の活躍とキャリア形成を促進するとともに、働き方改革等を推進することは警察職員として必要なことであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	485	男女共に輝く組織づくりに関する研修会
負担金	349	民間主催セミナーへの参加
合計	834	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県男女共同参画計画（第4次）」
Ⅲ-2-2 働く場における男女共同参画
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ-1-(2)-① 性差に関わらず活躍できる社会の確立
- ・「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」

(2) 国・他県の状況

警察庁から都道府県警察に対して、女性警察官が一層活躍するための職場環境の整備等について指示が出されている。

(3) 後年度の財政負担

年度末に実施を予定するアンケート結果等を勘案しながら、予算額を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

法に基づく女性活躍推進事業は、事業主である県が主体であり妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画に掲げる目標「令和8年4月1日までに女性警察官の割合12%程度など」の達成に向け、女性職員の活躍推進等に取り組んでいるところ、女性警察官のキャリア形成促進及び約9割を占める男性警察官の継続的な意識改革を図ることで、男女共に輝くことができる職場環境を醸成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

女性職員のキャリア形成及び職員の意識改革を事業の目的としており、目標を示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	女性警察官の活躍度に関する診断、女性警察官等の活躍に向けた講演会の開催及びキャリア形成研修会を開催した。 女性活躍推進度の数値化を図り、県警察の現状等を明らかにした。
令和3年度	ワークショップ研修会及びキャリア形成に関するプログラム研修会を開催し男性職員の意識改革や女性職員のキャリア形成の促進を図った。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>法整備や国等の計画推進に基づく不可欠な事業であるとともに、社会的な気運の高まりもあり、必要性は増加している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 1	<p>研修等による成果については、中長期的な検証が必要である。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>TV会議システムを活用し、多数の聴講を可能とするなど事業効果を高めた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 取組計画に定める目標「女性警察官の割合」、「幹部における女性警察官の割合」等を達成するとともに、男女共同参画組織を実現していくためには、継続的に意識改革・意識高揚を図っていくことが必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 女性活躍に関するリーダー等の育成及び組織の約9割を占める男性警察官の更なる意識改革を図っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	